

2009年4月1日

## 体育会常任委員部費免除願い

小澤宏紀

この度、2009年度前期総会のお借りして、以下のような理由をもちまして部費免除願いを申請させていただきます。

### ① 仕事量・時間的拘束が多い

**体育会常任委員の仕事量は総じて多いと言えます。任期も3年**と格段に長いです（1年の10月～4年の9月）。特に僕みたいに全新歓を担当し、体育会委員長になると仕事量は体育会の中でもトップクラスになります。

また、毎週月曜5限後は常会があるため、夜遅くでない月曜はアルバイトができません。更に第1水曜は体育委員会、第2水曜は七大戦実行委員会があります。この様に**時間的拘束が長い**ため、**アルバイトをする機会が減っているのが現状です。**

### ② 出費も多い

先日、七大学委員長会議が北海道大学でありました。七大学委員長会議は七大学ローテーションで行われ、北海道大学・東北大学・九州大学のような遠方にも行きますが、**交通費の支給はありません。**幹部（1番上の学年）のおごりにより賄われています。しかも、今回僕は遅れ参加をしたため、準幹部ではありますが大雄山駅～羽田空港駅、新千歳空港駅～札幌駅までの電車代は全額自己負担しました。来年、僕はおごる立場になるので金銭的負担はきつくなります。

### ③ 部費を免除されている部もある

ゴルフ部・体操部・ライフル射撃部・・・など多数の部活では、体育会常任委員になると部費が免除されています。

### ④ 全体のために

体育会常任委員会は体育会、強いては名古屋大学（七大学）全体のために活動をしています。部に対する直接的貢献は部強化費のUP、総会の教室取り、営業時間外の体育会室を空けるぐらいですが、間接的に貢献しています。

### ⑤ 後輩のために

僕が体育会常任委員でいる間は、他にオリエン部から常任委員を出さなくてもいいのですが、僕がいなくなった後の数年後には、オリエン部から常任委員を出さなければいけません。体育会に所属している以上これは義務です。これから入ってくる後輩の為にも部費免除制度を作っておきたいです。

**「常任委員になったら部費4年間免除」の規約制定をお願いします。**僕の場合2年分は既に払っているのですが、3・4年分の部費免除をお願いします。